

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

タマネギベと病の防除対策の徹底について

県内のタマネギ圃場で、べと病の一次感染株（越年罹病株）が散見されています。またこれまでの気象推移から、二次伝染に好適な気象条件が既に出現しており、今後、発病が増加するおそれがあります。

については、下記を参考に、一次感染株の速やかな抜き取りと、継続的な薬剤の予防散布の徹底について、生産者への指導をお願いします。

記

1. 発生概況（令和7年3月5日調査）

- ・マルチ栽培10圃場（早生品種主体）の定期調査では、一次感染株の平均発生株率は0.005%（発生圃場率10%）であった（図1）が、発病株では既に葉上に分生胞子を形成していた（写真）。
- ・露地栽培10圃場（中晩生品種主体）の定期調査では、一次感染株の平均発生株率は0%（発生圃場率0%）であった（図2）。

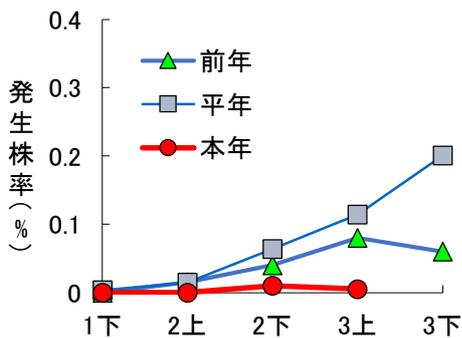


図1 マルチ栽培タマネギでのべと病一次感染株の発生推移

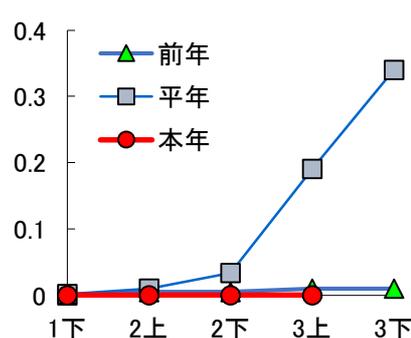


図2 露地栽培タマネギでのべと病一次感染株の発生推移

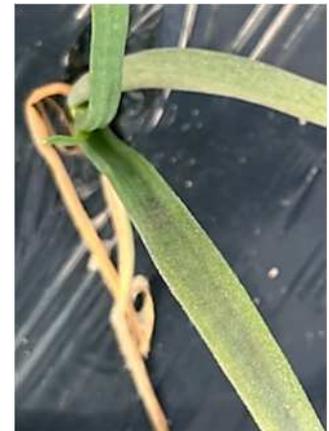


写真 分生胞子を形成した一次感染株
(令和7年3月5日撮影)

2. 気象推移に基づく今後の発生予測

- ・2月28日～3月4日頃に本病の感染に好適な条件が既に出現しており、約2～3週間の潜伏期間を経て、今後、発病が増加する可能性がある（表1）。
- ・福岡管区气象台が3月6日に発表した九州北部地方の1か月予報では、降水量はほぼ平年並であるものの、天気は数日の周期で変わると予想されている。このため、感染に好適な曇雨天が出現した場合は、さらなる感染が助長されると予想される。

表1 タマネギべと病二次伝染推定モデルによる感染・準感染好適条件の出現状況

日付		2月									3月				
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5
出現状況 ^{注1)}	佐賀									○	◎	◎	○	○	
	佐世保									○	◎	◎	○	○	
	福岡										◎	◎	○	○	
	熊本										○	◎	○	○	
出現地点数 ^{注2)}		0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	4	4	0

注1) 北部九州4地点(佐賀市、佐世保市、福岡市、熊本市)のうち、感染または準感染好適条件の出現状況を表す。

◎は感染好適条件、○は準感染好適条件の出現を表す。

注2) 4地点のうち、感染または準感染好適条件が出現した地点数を表す。

3. 防除対策

(1) 一次感染株の抜き取り徹底

一次感染株は周囲への伝染源となるため、**圃場の見回り**をこまめに行い、発生を認めた場合は**直ちに抜き取る**。抜き取った株は圃場に放置せず適切に処分する。

(2) 薬剤防除による二次伝染の予防

- ・タマネギは鱗茎肥大期以降べと病に感染しやすくなるため、最新の気象予報や図3を参考に、**予防防除**を行う。
- ・主要伝染期のジマンダイセン水和剤は10日間隔での4~5回散布を基本とするが、前回散布の7日後以降に曇雨天が予想される場合は、前倒して散布を行うなどして、**雨前の散布を徹底**する。ただし、防除効果を安定させるため、散布から降雨までの時間を、少なくとも24時間は確保する。
- ・防除対策の詳細については、佐賀県病害虫総合防除計画〈麦類・野菜・花き・飼料作物〉を参照する。

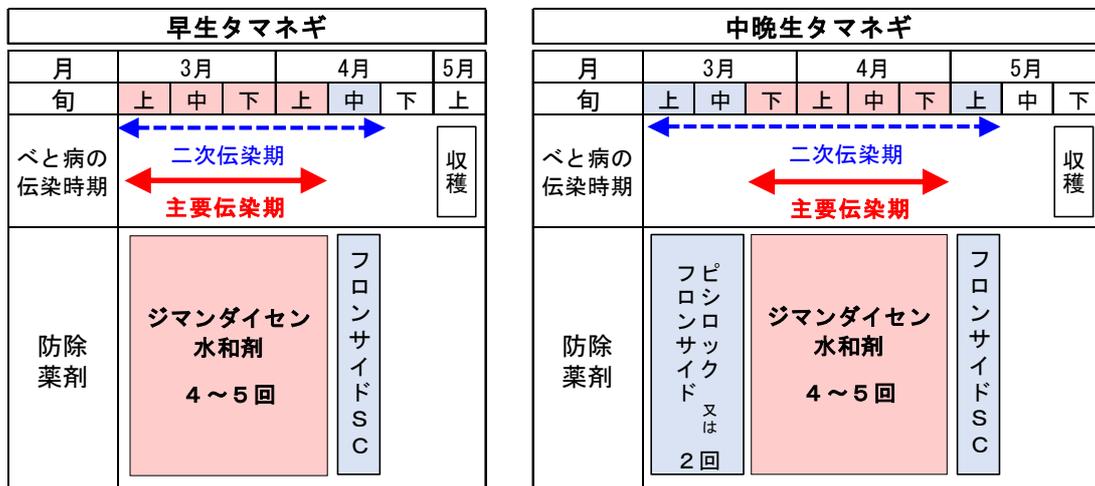


図3 タマネギべと病の伝染時期と薬剤防除体系(例)

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji003101844/index.html>

防除セQRコード^{*} 防除計画QRコード

